

TEIKA

Teikyo University of Science

ニューズレター 2015 第28号

いのちをまなぶキャンパス。



帝京科学大学



巻頭特集

「新校舎が千住キャンパスに誕生」

「健康で文化的な」大学生活のための道しるべを — 総合教育センターの役割 —

メッセージボイス

地域の声 / 卒業生の近況報告

キャリア支援センターのお知らせ

/ 卒業式・入学式 / 新任・退任教員の紹介



特集

◆ 学生のサークル活動と地域の交流レポート

◆ 教員の活動報告

千住キャンパスに新校舎が誕生！

隅田川沿いに位置する新校舎（7号館）は、人と自然の調和をめざし環境に配慮しながら機能性を追求した最新の施設・設備を用意しています。



■ 太陽光発電
体育館の屋根部分には、屋根材と一体型の太陽光発電モジュール（50KW）が組み込まれています。



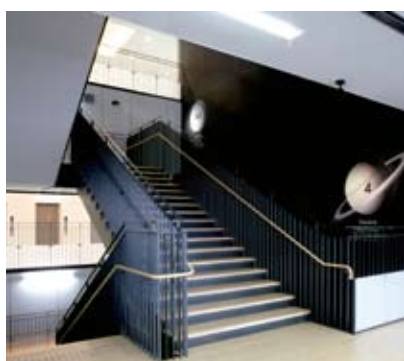
■ 屋上緑化
緑化によって屋根面への日射に対する断熱性能を向上させています。



■ 柔道場
国際規格を満たした道場を3面常設しています。



■ 帝京科学大学附属図書館
キャンパスライフに欠かせない図書館には、アクティブゾーン、グループ学習室など、学びを深める場を併設しています。



■ 階段
モダンデザインを取り入れています。



■ カフェテリア
コンビニエンスストアを併設した多彩なメニューを用意。



■ アリーナ
バスケットボールコートが2面とれる広さがあります。

新校舎には、主に3つの学科と附属図書館やアリーナ、柔道場があります。



■ 自然環境学科

メインとなる学生実験室に加え、実習や研究の内容に合わせて使い分けことが可能な実験室も5部屋あります。



■ 児童教育学科

個室でピアノの練習ができるレッスン室や、理科実験室、図工室、調理実習室、家庭科室、保育室などがあります。



■ 東京柔道整復学科

柔道整復師やアスレティックトレーナーに必要な技術が学べる、充実した実習室を完備しています。

「健康で文化的な」大学生生活のための道しるべを — 総合教育センターの役割 —



大学の学修には、みなさんが所属する学部・学科の専門分野を学ぶ専門課程（専門教育）と教養課程（教養教育）があります。教養課程は、歴史や文化、数学、生物、物理などで構成される教養科目や英語や情報などのコミュニケーション科目、保健体育科目などを学ぶ課程です。総合教育センターは教養課程を担当します。

教養課程には多様な定義が可能ですが、広く学術の基礎を学び、社会性や人間性を育成する学修課程と位置づけることができます。さらに、本学では「いのちをまなぶキャンパス」を掲げており、「いのち」を意識した科目や実習などは本学の特長といえます。

例えば、保健体育科目の一つである「健康と生活」を挙げてみましょう。本授業の目的は、「生活習慣病、ヒトの体のづくり、運動の仕組みなどを理解し、幅広く理解を深め、健康日本21の目標に寄与し生涯教育に結びつく知識を構築した上で、それらを実践できる人間になること」です。この目的を確かなものにするため、「健康と生活」では規則正しい生活の重要性や挨拶が果たす役割を事例とともに説明し、また、喫煙の害や禁煙に向けた指導、お酒との付き合い方、心の問題について外部講師による講義を実施しています。

今後ともみなさんが学びの重要性と楽しさを体感し、「健康で文化的な」大学生生活が送れるようサポートしていきます。



三尾 真琴

総合教育センター長・教授
専門分野
特別支援教育、比較教育論
(中東地域)

TOPICS

「2016年（平成28年）4月、千住キャンパスに『こども学部 幼児保育学科・学校教育学科』を開設、『医療科学部 医療福祉学科』*を開設予定！『いのちをまなぶキャンパス』がさらに充実します！

* 設置認可申請中



軟式野球部 顧問：豊田 輝

千住
キャンパス

私達、軟式野球部は、昨年サークルから部へと昇格をしました。また、昇格にあたりユニホームも本学のスクールカラーであるブルーに一新し、地区リーグ戦の春季大会、秋季大会へ出場しました。他大学と熱戦を繰り広げましたが、結果は、「サヨナラ負けが3戦」と悔しい経験をしました。この経験から、部員全員が「一致団結」して試合に臨む大切さを改めて感じました。

今年は、練習時から部員全員が「一致団結」し、地区リーグ戦を勝ち越すことを目標として活動中です。また、本学のみならず足立区からも応援されるような「軟式野球部」となるよう、社会貢献も忘れずに日々努力したいと思います。ぜひ皆様の応援、よろしくお願い致します。

主将：山本 雅道 (生命科学科3年)



特集

第 6 弾

学生のサークル活動と

バレーボール部 顧問：男子 高田 大輔 女子 濱田 淳

千住
キャンパス

私たちバレーボール部は男子11名、女子8名で活動しています。バレーボールは人を生かすスポーツです。次の選手が良いプレーができるように思いやる心がなくてはボールは繋がりません。全員でボールを繋ぎ一点をとりこく「全員バレー」をモットーに、関東大学リーグ昇格を目標に部員一同日々練習しています。練習では、集中すべき所ではしっかりと集中し、楽しむべき所では全力で楽しむメリハリのある練習を心がけています。その成果もあり、男子は春季関東大学リーグで7部に昇格をすることができました。また、練習が終われば、先輩も後輩も一緒にバレーボール以外の話題で盛り上がり、一緒にご飯を食べに行ったりと、先輩後輩の壁がないとても楽しいクラブです。

これからも、一試合ごとに、技術面で、そして精神面でも、成長していけるように日頃から練習に取り組み、努力していきたいと思っています。

主将：高岡 祐作 (生命科学科3年)

バスケットボール部 顧問：大橋 信行

私たちバスケットボール部は、男子 14 名、マネージャー 4 名の計 18 名で活動しています。部の活動を「人間形成」とし、日々練習に励んでいます。

今年度最初の大会として、6 月下旬から 7 月上旬にかけて理工系リーグ戦があり、その大会に向けて部員全員が切磋琢磨し、「一戦必勝」の気持ちで技術を高め合っています。

私たちは大会に勝つことだけを目標に活動しているのではなく、目的にも掲げている「人間形成」にも力を入れています。これは、部活の中だけでなく、私生活においても礼儀や節度を重んじており、部活を通して人として成長することを目指しています。

ここまで聞くと厳しそうないメージをもたれてしまうかもしれませんが、そのようなことはなく、先輩や後輩と楽しくバスケットボールができ、人間としても成長していける部活です！バスケットボールに興味のある方はぜひ私たちと一緒にバスケットボールをしましょう！

初心者、経験者、マネージャーも大歓迎です！

主将：本間 智也（こども学科 3 年）



地域の交流レポート

現在、本学には 100 を超える課外活動団体があり、それぞれが目標を持ち、地域や学外との連携を図りながら独自の活動を展開しています。今回は、その第 6 弾となります。



原稿募集のお知らせ !!

「ニューズレター」では第 29 号以降に掲載するサークル紹介の原稿を募集しています。

「ニューズレター」に掲載したい団体は下記までお知らせください。

連絡先：03-6910-3775

担当：入試・広報課

Mail：koho@ntu.ac.jp

教員の活動報告

Teacher's Activity Report

イヌの問題解決能力をテストする

アニマルサイエンス学科 助教 今野 晃嗣

学科の看板授業のひとつにアニマルサイエンス実習があります。私が担当する実習では、イヌの問題解決能力を調べるテストを行っています。まずはご紹介しましょう。

はじめに、おやつが入った容器をイヌに見せ、自由に食べさせます。その後、おやつが取れないようにフタを閉めてイヌに与えます。すると、イヌは口や前足でフタを開けようとします。自力で長い間がんばるイヌもいます。もう無理だと諦め、後ろを振り返って人の顔をじーっと見つめるイヌもいます(写真)。人の顔とおやつを交互に見るイヌもいます。

実は、イヌの祖先のオオカミ、そして日本犬やハスキー犬など原始的犬種は、自力でがんばるタイプの行動をします。一方、他の多くの犬種は、人とアイ・コンタクトをとって解決しようとします。まるで「フタを開けて!」と催促するような行動は、イヌが家畜化の過程で身につけた能力と考えられています。

このように、イヌは個性豊かな動物です。さて、あなたの愛犬はオオカミ派でしょうか。それともイヌ派でしょうか。



看護学科国家試験対策委員会

看護学科 教授 武政 奈保子



看護学科4年生は、学科開設以来初めて看護師国家試験に挑みます。1期生のため上級生のモデルがなく、勉強の仕方がわからないと嘆いていた学生たちの間にも日々現実感が高まっています。看護学科では、1年次から国家試験の動機付けとして入学ガイダンスで説明、2年生と3年生には予備校の対策ガイダンスを聴



講させています。さらに低学年用全国模擬試験を受け、自分の実力を把握し、日々の学修の指標にしています。また、国家試験の過去問題や予想問題は、学内の全てのパソコンから見ることができ、国家試験過去問題は授業課題にもよく使われています。4月に完成した看護国家試験対策自習室には、調べ物学習用のためのパソコンが2台置かれ、主に実習から帰ってきた4年生が使用しています。自習室の中では、4年生の姿を見て、先輩に勉強を教えてもらっている下級生の姿も見かけます。

アメリカスポーツ医学会参加記

柔道整復学科 特任助教 舟喜 晶子

2015年5月26日～30日に米国カリフォルニア州サンディエゴで第62回アメリカスポーツ医学会が開催されました。この学会はスポーツ医学の分野では非常に大きな学会の1つで、様々な国々の研究者が研究成果を発表する場です。私は今回「Aging-related Relationship Between Balance Ability and Perceived Submaximal Force Production by Leg Muscles in Women.」という演題で発表を行いました。

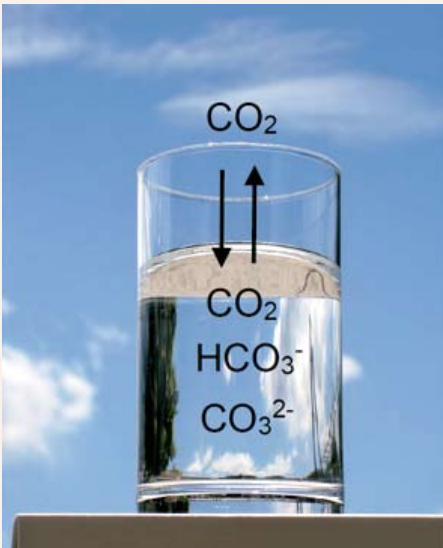
高齢者の転倒予防として「筋力トレーニング」が挙げられますが、一般的にこの

言葉を聞くと「目いっぱい力を入れること」を思い浮かべるのではないのでしょうか？しかし、我々が日常生活において発揮する筋力は最大の約10～20%程度で、低負荷の筋力発揮を調整することで円滑な動作が行われています。私の研究テーマの1つである力感覚は、発揮する筋力を調整する感覚のことであり、低負荷での転倒リスク評価や運動療法への応用を目指しています。このような課題について、将来地域医療の担い手となる学生たちと共に取り組んでいきたいと考えています。



CO₂は水にどのように溶け込んでいるのか？

自然環境学科 教授 仲山 英之



私は、今年の4月に物理化学の担当教員として着任しました。それ以前は、学習院大学化学科で、有機分子からなるガラスや液体と気体の中間的な性質を示す超臨界流体と呼ばれる物質を研究対象として、それらの中で分子がどのように存在しているかについて調べてきました。

現在、大気中のCO₂濃度の増加が問題になっていますが、CO₂は大気中だけでなく海水中にも存在し、大気との間でやり取りがあります。濃度としては炭酸飲料水やビールに比したならば低いですが、海水全体に溶けている量としては大気中

の約60倍に達すると考えられています。

水に溶けたCO₂は、そのままの形で存在するのではなく、主にHCO₃⁻やCO₃²⁻というイオンになって存在しています。コップの水の中でも同様です。ところでこれらのイオンを周囲の水はどのように取り囲んでいるのでしょうか。このことは、水に溶けたCO₂の振る舞いを理解するうえで重要な事柄であると考えています。そこで、現在このことを調べるための測定装置の整備を進めています。

膝外傷メカニズムの解明

東京理学療法学科 助教 鳥山 実

スポーツを活発に行う人にケガはつきものです。バスケットボールやサッカーの経験がある人なら、周囲に膝前十字靭帯（ACL）損傷を経験した人がいるかもしれません。有名人では今年FCバルセロナを退団したシャビや日本人だとフィギュアスケートの高橋大輔なども受傷しています。私自身も、同じケガで左右合わせて3回の手術を経験しました。

ACLの受傷機転はジャンプ着地やストップ動作時が多く、膝が内側に入ることによって受傷するとされており、私はこの受傷機転がどのような経緯で生じるかを解明

することを研究課題の1つとしています。

そこで着地動作時の身体の動きを検証したところ、「着地直前の空中」の時点ですでに大腿（太もも）が内側に入り、また足首を内側にひねっていることが分かりました。この2つの動きは着地時に膝が内側に入ることに繋がり、ACLの受傷機転となり得ると考えられます。しかし、詳細な受傷機転については不明な点も多く、今後もそれらの解明に繋がるよう研究を続けていきます。



7th JOSKAS (15.6月、札幌)での発表

「何がしたいのかな?と子供たちに聞く
と多くの子供たちが外で遊びたいと答える中、
絵を描きたいといつも答えますよ。」
と保育園の先生から聞いていなければ、
図工教室に通わせようと思わなかったと
いう話を、ものを作ること・それを伝えて
いくことを仕事にする私を見て母が話して
くれたことがあります。

その先生にとっては保育士として子供
達の些細な成長や変化、気付きを保護者
に伝えるという当たり前の行為のひとつ
だったに過ぎません。しかし、子供の成
長だけでなくまだまだ新米の親の後押し

も含め、保育士や幼稚園教諭は『人を育む』
『社会を作る』大きな役割を担っています。

現場では、子供達がどんなことに興味
を持ち成長しているのか。些細な変化に
敏感でなければならない観察力や洞察力、
それらから読み取った子供達それぞれの
個性や感性に対し、どう導き、かたちに
していくのか手段や方法を考え与えてい
かなければなりません。

造形の授業を通して、学生達には与え
られるのではなく、自ら観察すること、ど
う表現するか考え、工夫し発見すること
を楽しみながら『人を育むこと』に大切な力

を養ってもらいたいと思っています。



伝統行事で食中毒がその原因は?

生命科学科 教授(兼担) 小島 尚



原玉アマチャ (厚労省 HP より引用)

日本は四季に恵まれ、季節を象徴する
行事があります。少し前のことですが、
4月には花祭りが各地の寺院で行われ、
お釈迦様に甘茶をお供えする姿を見か
けます。

甘茶はユキノシタ科アジサイ属アマチャ
の葉を乾燥させたもので、糖尿病患者の
甘味料や医薬品の矯味料にも利用されて
います。その甘茶を飲んだ児童たちが悪心、
嘔吐を主症とする事故が2年連続して発
生しました。症状はいずれも軽く、大事に
は至りませんでした。私たちもその原因究
明に参加して検討を行いました。その結

果、甘みを強くするため多量のアマチャ葉
を用いて濃い甘茶を煮出したため、アマ
チャ葉に含まれる苦味成分も多く煮出さ
れたことが原因と示唆されました。

甘茶のように、古くから利用されている
食品にも思わぬ落とし穴があることがわ
かりました。私たちの研究室ではこのよ
うな食品の安全性を確保するための実験
や検討を行っています。



花祭りイラスト
(イラスト集より引用)

手書き文字を見直す機会として

教職センター 助教 鈴木 貴史

6月27日に足立区内の小学5・6年
生を招いて、恒例の「夢の体験教室」が
行われました。私たちの基礎ゼミでは、「サ
イン入りキーホルダー作り」を行いました。
「サイン入り」とあるように、ただイラスト
を描くだけではなく、キーホルダーにロー
マ字(筆記体)を用いて自分の名前を入
れることに挑戦しました。学生たちは、
準備の段階で慣れない筆記体の特訓し、
当日は児童の前で緊張しながらも、立派
な先生としてやり遂げてくれました。

この企画は、学生からキーホルダー作
りの提案があり、私の研究テーマの一つ
である書字能力(手書き文字)の研究と
組み合わせて生まれました。私は現在、
科学研究費の助成を受け、教師の書字能
力の形成に関する研究を行っています。

この体験を通して、小学生には手書き
文字の文化に触れて何かを感じ取る機
会となり、学生には将来初等教育に携
わる者として、書字能力の意義を考
える契機となれば、とても嬉しく思
います。



表現活動を支援するということ

児童教育学科 講師 平野 英史



図工室の様子

かわる教育にかかわっていると、人に「美
術を教えること」ができるのだろうかとい
う問題に行きあたります。美術にかかわ
る活動は、自分の思うままに、個性を発
揮する活動だからです。

しかし、自由な表現を行うためには、
絵筆の技術、刃物の使い方、素材の知
識といった技術・知識を訓練的に身に付

なければならない場合があります。自
分の心のイメージを再現するためには、
それに見合った方法の習得が必須だから
です。

このように、自由な活動という側面と、
訓練的な活動という側面との両面をど
のように授業の中で有機的に「つない
だり」「かさねたり」できるかというこ
とを日々、学生とともに考えています。

国際学会での研究成果報告

理学療法学科 講師 跡見 友章

理学療法学科の教員は教育・研究・臨床の3本柱が主な仕事になります。今回は、7月にスペインのセビリアで開催されたISPGR (International Society for Posture and Gait Research: 国際姿勢と歩行研究会) という研究会の国際学会で研究成果を発表してきたので、その結果報告をしたいと思います。

この国際学会では世界中の研究者や理学療法士が集まり、5日間に渡りそれぞれの研究成果を報告します。理学療法士の重要な研究テーマの一つに、身体バランスに関する研究があり、私も人が身体

バランスを崩した際の脳活動に関する基礎的研究を報告してきました。発表には10人ほどの専門家が質問に来てくれました。研究内容の説明や質問への答えを、英語で行わなくてはならず苦労しましたが、なんとか無事に終えることができました。次回は2017年に、シンガポールで行われる予定とのこと。

次回発表に臨む際には、研究内容も英語力ももっと向上させたい、と思いを新たにしたところで報告を終えたいと思います。



ポスター発表会場にて

セビリア大聖堂にて

イルカ問題から考える動物観と動物園水族館

総合教育センター 講師 佐渡友 陽一



2015年4月22日、日本動物園水族館協会(JAZA)は、多くの加盟水族館が太地町の追い込み漁からイルカを入手していることを問題とされ、世界動物園水族館協会(WAZA)から1か月以内に改善しなければ除名すると通告されました。この話題については、5月9日以降メディアでも大きく扱われました。一連の報道からは日本人の動物観、動物園水族館観が浮かび上がりますが、大きく分けると、日本人はいかに外圧に対処すべきかという論点と、そもそも動物園水族館はどうあるべきかという2つの論点になり

ました。

その中で改めて感じたのは、日本の動物園水族館の経営理念が不明確で、説明能力も高いとは言い難いことです。これからの社会における動物園水族館の立ち位置をどう考え、誰に何をアピールし、どのような経営を築いていくのか。これらの点をしっかり構築することが、日本の動物園水族館の未来を切り開くために、ますます重要になってくると考えております。

「いのちをまなぶ」地域連携活動について

東京柔道整復学科 講師 濱田 淳

東京柔道整復学科では、地域社会の中心となる柔道整復師を育成することを目的として、地域ボランティアへの参加を積極的に行っており、私は学科の地域連携担当として、学生たちと地域社会を結び役割を担っております。

毎年12月23日に開催される「足立フレンドリーマラソン」においては、コンディショニングケアブースを設置し、実技実習で得たストレッチングやアロママッサージの施術を行い、競技後のランナー

の皆さんとコミュニケーションをとりながら実際の身体に触れる機会を通じて、人の身体に関わる仕事の大切さ、そして大変さを学ぶことが出来ていると実感しております。

昨年は足立区総合防災訓練に、トリアージ訓練の傷病者役として本学科の学生が参加しました。この経験によって、災害救助の重要性、また医療従事者に求められる知識や技術についても、深く考える良い機会となりました。

今後もこうした活動を通じて、学生たちが地域社会に広く求められ、また地域社会に対して感謝の気持ちを持てる心豊かな人間となるように、尽力してゆく所存です。



生理学実習について

作業療法学科 教授 本間 信生

解剖学は人体の形態を扱うのにたいして、生理学は人体の仕組みを調べる学問



写真は、血圧測定の生理学実習中の様子

です。形は可視化できるのでなじみやすいようですが、仕組みや現象は理解しづらいと感じる学生が多いように見受けられます。

そのため、本学上野原キャンパスの医療科学部では生理学実習のコースが設けられていて、学生自らの体を材料に生理学的現象についての計測をおこなっており、学びの一助としています。

具体的には、「末梢神経の伝導速度」、「呼気ガスの分圧」、「皮膚の温痛覚」、「四肢の血圧と運動の関係」などの項目の実習があります。

座学として教室で講義を聞いても理解が薄い学生も、体験し苦労して学んだ内容は印象に残るといっているため、生理学実習はこれからも続けていく予定です。

帝京科学大学と社会福祉法人国立保育会

社会福祉法人 国立保育会 常任理事・本部事務局長 常松大介

メッセー
ジボイス



私ども国立保育会は、国立市、国分寺市、練馬区で認可保育所等の保育施設を6ヶ所（平成27年7月1日時点）運営させていただいております。中でも最も古

い施設は昭和32年に開設しており、これまでたくさんの地域の皆様に支えられ、運営を続けてまいりました。

国立保育会は、帝京科学大学と様々な交流を行っております。保育施設実習の受け入れはもとより、卒業予定者の方々の施設説明会の開催、平成25年度から3年連続で卒業生の就職先としてもご選択頂いております。

また、年に一度、法人の理事や施設長が帝京科学大学に伺い、保育所実習前の学生の皆様に、現場の保育の実状や実習の心構えなどをお話しさせていただきたいと思っています。

私どもとしては、今後もこのような良好な関係を継続させていただきながら、少しでも保育業界全体がよくなるよう、帝京科学大学と二人三脚で歩んでまいりたいと思っています。

活躍する卒業生 ～本学OBから初の大学教授誕生！～

濱野 吉十さん（福井県立大学・生物資源学部・生物資源学科 教授）からの近況報告です。

西東京科学大学・理工学部・バイオサイエンス学科（現：帝京科学大学 生命環境学部 生命科学科）の3期生である私は、卒業から20年が経とうとしています。節目の今、後輩の皆様へのメッセージとして拙文を投稿することにしました。

私は、幼少のころから野球が大好きな、いわゆる「野球バカ」でした。中学校も高校も野球部だった私は、当然、大学に入学してすぐに野球部に入り、3年生の前期まで大いに野球を楽しみました。その甲斐あって、私の学業成績は、「可」のオンパレードであり、期末試験のときには、テレビのリモコンを関数電卓と間違えて教室に持って行くような学生でした。もちろん、講義の単位はとれませんでした。友達と先生の大爆笑はもれなく頂戴しました。

野球で飯が食えるほどの能力がないことにより、気が付いた私は、幸いにも大学での所属が「野球部」ではなく「理工学部」であることにも気がきました。そして無謀にも、研究者になることを夢みて、その動機は、「野球の他に好きだったものが生物と化学だったから」・・・極めて単純です。

敢えて、卒業研究の研究室は、厳しい研究室と聞かされていた実吉峯郎先生の研究室を選びました。私のような落ちこぼれを拾って下さった実吉先生、山口十四文先生、平井 俊朗先生に改めて感謝する次第です。特に、直接指導して下さった平井先生は、大変厳しくも大切に育てて下さいました。その後、大学院修士課程は、富山県立大学に進み、外資系製薬会社に勤めた後、富山県立大学の博士課程で学位を取得しました。アメリカで博士研究員を1年半経験し、2003年に福井県立大学の教員になり現在に至ります。野球では世界の

イチローになれませんでした。科学の世界でイチローになりたい一心で、この20年間、挫折と紆余曲折、右往左往を繰り返しながら、人の何倍も努力してきました。そして、若い体力を惜しみなくその努力に投入してきた結果が、今年2月の日本学術振興会賞（第11回）と日本学士院学術奨励賞（第11回）のダブル受賞につながったものと思います（写真）。



後輩の皆様にお伝えしたいことは、勇気を持つことです。私も初めは勇気が持てず悩みましたが、とにかく夢に向かって飛び込むことです。そして、私自身が学生によく言っていることですが、インターネット上のネガティブな情報は信じないことです。私が学生の頃、もし「2ちゃんねる」というものがあつたとし、その膨大なネガティブ情報を見ていたとすれば、とても飛び込む勇気を持てなかったと思います。科学への興味、夢、努力、意地を信じて果敢にチャレンジして欲しい。皆さんの勇気に期待しています！

キャリア支援センターだより

教員参加型の就職支援。より充実したサポートで学生の夢を応援します。

当センターでは、専任カウンセラーの常駐、多彩なキャリア支援プログラムなどで、学生の就職活動を手厚く支援しています。2010年には就職戦略委員会を設立されました。学生の一番身近な存在である研究室の教員も就職支援に参加し、支援体制をさらに充実させています。3年次からは、研究室ごとに担当のカウンセラーが対応し、4年次には学生と教員、カウンセラーによ

る三者面談も行われます。就職状況などの情報はすべて共有し、大学全体での就職支援体制を整えています。このような取り組みが近年の高い内定率に直結しています。指導してきた学生たちが社会で活躍することは、私たちキャリア支援センターの職員にとっても大きな喜びとなっています。将来の夢の実現に向け、一緒に頑張っていきましょう。

卒業式・入学式



●卒業式

平成27年3月17日(火)、東京・九段の日本武道館において、平成26年度帝京大学グループ卒業式・修了式が挙行されました。

式は厳粛かつ盛大に行われ、東日本大震災の影響で入学式ができなかった学部生と大学院生839名を代表して各学科・専攻の総代に沖永莊八学長から卒業証書・学位記が手渡されました。式終了後には卒業生全員に卒業証書・学位記が手渡されました。



●入学式

平成27年4月4日(土)、平成27年度帝京大学グループ入学式が日本武道館で挙行されました。

新入生をはじめ多くのご家族の皆様にご来場いただき、生命環境学部、医療科学部、こども学部の3学部合わせて1,285名と大学院理工学研究科12名の新入生を迎えることができました。

新任教員の紹介

平成27年度 着任(6月1日現在)

〔自然環境学科〕

仲山 英之 教授

〔アニマルサイエンス学科〕

八木 行雄 教授
佐藤 衆介 教授
小林 豊和 准教授
山本 真理子 助教
有賀 小百合 特任助手

〔理学療法学科〕

平賀 篤 助教

〔柔道整復学科〕

大野 伸一 教授
舟喜 晶子 特任助教
富田 圭佑 特任助教

〔東京理学療法学科〕

眞保 実 講師

〔東京柔道整復学科〕

高田 雄三 准教授
行田 直人 准教授

〔看護学科〕

方波見 柳子 准教授
富岡 由美 准教授
田中 博子 准教授
福井 郁子 助教

〔こども学科〕

藤井 志帆 講師
望月 崇博 助教

〔児童教育学科〕

赤羽根 直樹 教授
本多 みどり 教授
飯泉 祐美子 准教授
平野 英史 講師

〔総合教育センター〕

小堀 馨子 准教授
佐渡友陽一 講師
金田 拓 助教

〔教職センター〕

鈴木 貴史 助教

退任教員

平成26年度 退任

〔自然環境学科〕

栗林 清 教授

〔アニマルサイエンス学科〕

村上 洋介 教授
滝坂 信一 教授
関口 麻衣子 准教授

〔理学療法学科〕

水戸川 彩 助教

〔柔道整復学科〕

天野 達也 教授
朝倉 勇人 講師

〔東京柔道整復学科〕

大久保 真人 教授

〔看護学科〕

加藤 基子 教授
平田 礼子 講師
小澤 美和 講師

〔こども学科〕

川田 裕樹 講師

〔児童教育学科〕

上野 行一 教授
安部 久美 特任助教

〔総合教育センター〕

淡路 佳昌 准教授

〔教職センター〕

樽木 靖夫 教授

TEIKYO University of Science® 大学祭

今年も新しい・楽しいイベントが盛り沢山!!
上野原キャンパス・千住キャンパスそれぞれの
大学祭をご紹介します。

人の色で彩る、光彩 科大祭 ～上野原キャンパス～

10/10(土)・
11(日)
開催!!

こんにちは、第25回大学祭実行委員会委員長の佐々木幸一郎です。

皆様のご協力、ご支援のおかげで昨年の科大祭も無事に終わることができました。ありがとうございました。今年度も10月の開催が決定し、25回目を迎えます。

今年度のテーマは「光彩(こうさい)」です。科大祭には私たち実行委員だけではなく、模擬店を出店する学生、支えてくださる地域の企業やお住まいの皆様、当日来場して下さる皆様など、多くの方が関係しています。その一人ひとりを「光

に、個性を「色」に例えました。そして本学にはうまセンターやコンパニオンアニマルセンターを始め、他大学にはない様々な動物達も関わっています。「彩」は面白味を増すことや華やかな変化という意味を持ち、科大祭という場を通して笑顔になって欲しい、新しい感性をもって欲しいという2つの願いも込められています。

また、テーマカラーは「白」としております。イメージが難しいとは思いますが、光は多くの色が重なれば重なるほど明るさを増し、白色の光になります。白はす

べての色の集合体であり、すべてを受け入れている状態に例えることができます。科大祭で多くの人との出会いと、動物たちとの触れ合いを通して、たくさん色を取り入れていってください。

実行委員会一同、本学の学生達も皆様のご来場を心よりお待ちしております。

科大祭実行委員会委員長
佐々木 幸一郎
(アニマルサイエンス学科3年)



5年目の感謝 桜科祭 ～千住キャンパス～

10/31(土)・
11/1(日)
開催!!

こんにちは! 第5回桜科祭実行委員会委員長の内山彩奈です。

桜科祭は、千住キャンパスで行われる大学祭のことです。昨年は皆様のおかげで第4回を成功させることが出来ました!

協力して下さった方々、また来場して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

今年は記念すべき第5回、節目の年を迎えます! 今年のテーマは『継桜開来』です。

先人の思いを受け継ぎ、それを発展させていくという意味の「継往開来」という四字熟語を本学らしくアレンジしました。そして、この年をきっかけにもう一度過去を見直し、さらに成長した桜科祭をつくってほしいという思いでこのテーマを掲げました。

また、第5回を迎えることが出来るのは、これまで協力して下さった本学の関係者の方々や地域の皆様、支援して頂いた企業の皆様、桜科祭をつくり上げて

きた先輩方、そして何より来場して頂いた皆様のおかげです。今年も、今まで桜科祭を支えて下さった皆様に感謝の気持ちを伝えようと、実行委員一同意気込んでおります! 感謝の気持ちを伝えるための多くのイベントをご用意して、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

桜科祭実行委員会委員長
内山 彩奈(生命科学科3年)



【編集後記】 千住キャンパスに新校舎が開設され、学生の学修や活躍の場が増えています。今後も教員の活動内容や学生の活躍を伝えていきたいと考えております。
(ニューズレター部会 相原 正博)

発行人: 帝京科学大学 学長 冲永 莊八
〒120-0045 東京都足立区千住桜木2-2-1 TEL: 03-6910-1010 (代表)
帝京科学大学ホームページ URL: <http://www.ntu.ac.jp/> E-mail: tustnews@ntu.ac.jp
※ご意見、ご要望をお寄せください。

